

れた議会へ



推進特別委員会 座談会



「議会白書」できました

甲賀市議会20年のあゆみと議会改革に関する「議会白書」ができました。議会改革推進特別委員会では、この間の取組をまとめたものです。「より開かれた議会」へ、議員全員が「議会基本条例」を検証するなかで、議会と議員のあり方を再認識しました。

☆ 議会基本条例を検証して

山岡 2013（平成25）年9月議

会で「議会基本条例」が可決されて以降、全議員による検証を行ったのは初めてですが…。

戎脇 自らが新人議員だった頃の先入観で、期数の浅い議員にはわかりにくいと決めつけていたけれども、経験年数を問わず、全議員が検証することで理解が深まった。反省とともに大いなる前進だと思う。

木村 一期目の議員にとっては、議会のあり方を学ぶ格好の機会だった。

福井 グループワークをしたこともよかった。意見を出し合うことで、条例の理解が深まった。

橋本 討議と討論の違いなど、議論することによって認識を新たにしたり、共有することができた

のは良かった。

山岡 一回だけではなくて、何度も議論し、地方自治を研究されている識者からの意見もお聞きし、それをふまえて条例の文言の修正、逐条解説まで見直しすることができました。

橋本 議会として最高規範という位置づけですから、今後は条例の精神に沿った議会活動・議員活動ができるかどうか、私たちが求められますね。

戎脇 理解はすれども、例えば第9条（議会審議における論点情報の形成）、つまり政策立案というところまではまだまだできていないと思いますね。

橋本 この間、議員間討議や常任委員会では所管事務調査を継続的に取り組んできましたがそれを

政策化して市政に生かす点はこれからですね。

山岡 議員の資質、力量を高める必要がありますね。

戎脇 まだ緒についたところという感じですが、常任委員会では市民の皆様の意見を聞き、それをまとめる。市に届けるなど前向きに進んでいると思う。

橋本 そうですね。小中学校再編計画をテーマに厚生文教常任委員会が意見交換会を開きましたが、さまざまな意見が出され、それらをまとめて教育委員会に届けました。

田中 甲賀市議会独自の取り組みとして、「委員会代表質問」が制度としてあるので、議員間で充分議論して、政策提案や政策サイクルをまわすことも大事ですね。

戎脇 理念だけでなく、行動に移すということが大事。

木村 課題である議員定数と議員報酬についても、グループワークで討論したが、もっと議論する必要がある。

山岡 議員定数を減らすので議員報酬をあげる、というようにこの問題をセットで考えるのではなく、それぞれのあり方を考えることから議論することが大事。

甲賀市議会 議会改革のあゆみ

《2008年3月》 議会改革特別委員会発足

- ◆30人の定数を27人に(2009年10月より)

《2009年3月》

- ◆一般質問で一問一答方式を導入
- ◆代表質問に同会派からの関連質問を認める

《2013年9月議会》

- ◆「甲賀市議会基本条例」全会一致で可決



《2014年3月》 議会改革推進特別委員会

- ◆27人の定数を24人に(2017年10月より)
- ◆議会基本条例に基づき「議会報告会」を開催

《2015年3月》

- ◆議員提案で「甲賀市甲賀の茶及び甲賀の地酒を信楽焼の器でもてなす条例」を全会一致で可決

《2018年12月》

- ◆「甲賀市議会議員政治倫理条例」全会一致で可決
- ◆予算決算審査を全議員が参加する「常任委員会」として設置

《2019年》

- ◆龍谷大学とのパートナーシップ協定

《2020年5月》

- ◆議会BCPを発動／議会開始時間を9時半から

《2021年9月》

- ◆「広報広聴委員会」を設置
- ◆常任委員会で初の代表質問

《2022年9月》

- ◆市議会と市が共同宣言「甲賀市環境未来都市宣言」

《2024年9月》

- ◆ボタン式採決システムを導入
- ◆全議員による「基本条例」検証
- ◆市民との意見交換会

《2025年6月》

- ◆オンライン会議を可能にする要綱を制定

《2025年9月》

- ◆「甲賀市議会20年のあゆみと議会改革に関する白書」を作成…初めての試み

より開か



議会改革

☆ 政策提言ができる議会に

山岡 今後の課題について、一言ずつどうぞ。

福井 私は、議員として広報広聴の取り組みを充実させる必要があると思います。

木村 私は議会改革推進特別委員になり、基本条例の骨格を深く学ぶことができたのは、財産です。今後は、私の議員活動のバックボーンとして常に意識し、取り組みたいです。

戎脇 全議員研修の中で最も納得で

きたことは「議会は議員のものではなく、市民のものだ」ということ。議会が公器であることを再認識しました。またその本来の意味を追求する議会でありたいと思います。

橋本 議会の役割がますます高まっている時だけに、大いに議論し、大いに行動することが大事ですね。

田中 「市民とともに歩む議会」の実現にむけて改革と創意工夫が

求められると思います。

山岡 地方自治体において、二元代表制は「民意の競い合い」といわれています。如何にして、市民の皆様の願いを市政に反映していくのか、とりわけ議会は市長が進める市政のチェック役、市民の皆様の願いを市政に生かすためのパイプ役という役割があります。だからこそ、政策提言できる力量をつける必要がありますし、議員間でもっと議論をして合意形成を図っていく必要があると思います。